

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。

機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

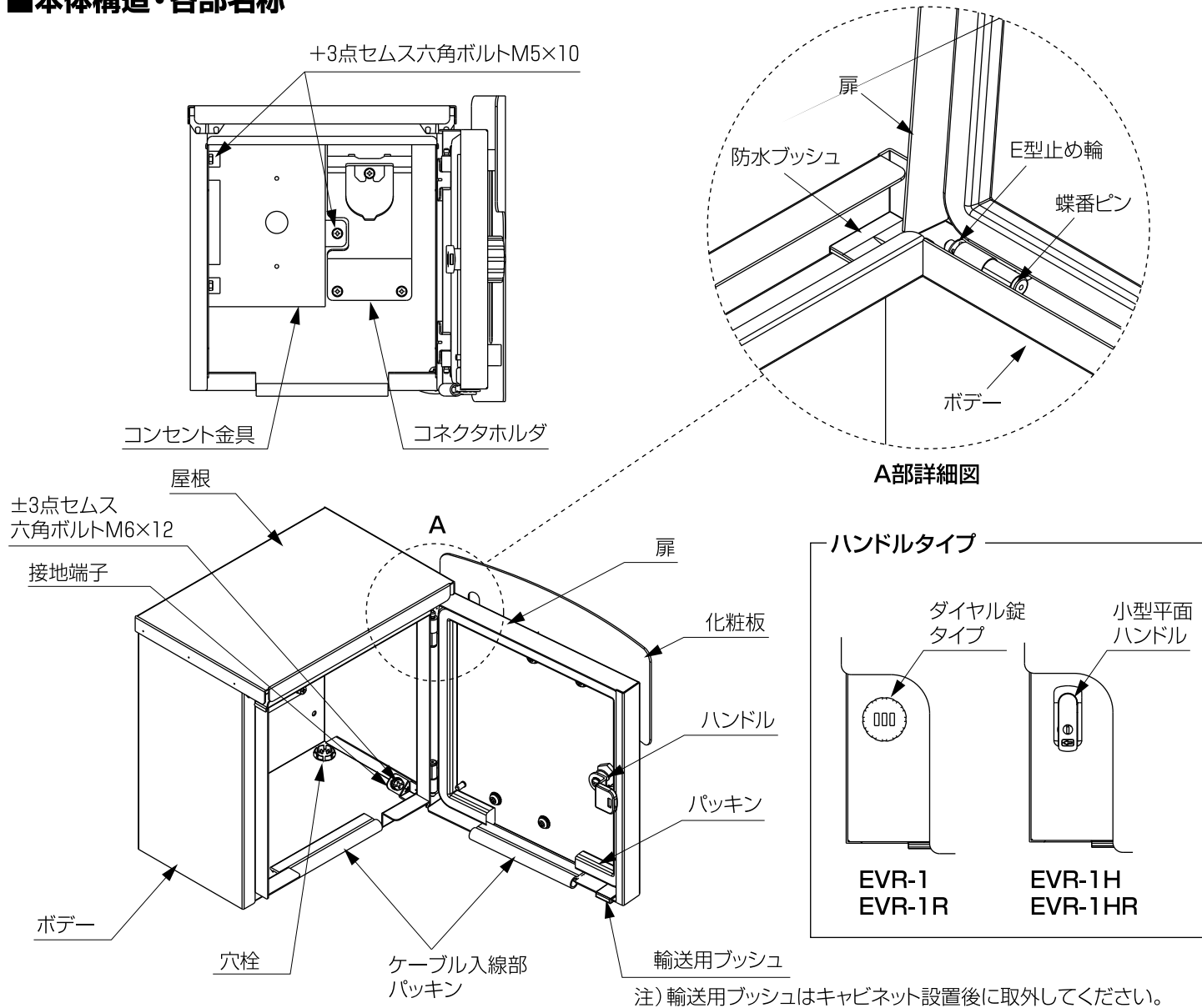
警告	回避しないと、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■使用上の注意

注意									
	<ul style="list-style-type: none"> 本製品は壁掛け専用のPHV・EVコンセント収納用キャビネットです。使用目的以外で使用しないでください。 ポール取付等、背面から水等が浸入するおそれのある場所へは設置しないでください。 								
	<ul style="list-style-type: none"> 電気工事は有資格者（電気工事士）が行ってください。 本製品は「EV・PHEV充電用接地屋外コンセント WK4322S (Q) パナソニック電気株式会社製（以下コンセントと記載します。）」取付用となっております。 コンセント施工方法の詳細は、パナソニック電気株式会社のWebサイト (http://panasonic.co.jp) をご参照ください。 コンセント回路は専用回路とし、主幹ブレーカまたは分岐ブレーカには漏電ブレーカをご使用ください。 キャビネットの取付けは、十分な強度のある壁面に確実に固定してください。強度が十分でない場合キャビネットが落下し、機器の故障やケガの原因となる可能性があります。 キャビネットを壁際に取付ける場合、蝶番側は少なくとも40mm以上の隙間（図1）を空けてください。それ以下の隙間では扉が開かなくなります。 キャビネットの設置には壁面取付穴をご利用ください。取付ねじは呼び径4.1又は4.5の木ねじをお奨めいたします。木ねじの締付トルクは、取付ける壁面により異なりますので、右表とは別に緩みやねじの空転などが無き様、確実に締付けを行ってください。壁面取付けの際は、必ず付属品の背面パッキンEVRを貼付け、キャビネットの壁面取付穴および壁面に接する底面以外の外周部3カ所にシール等により防水処理を施してください。 各種取付ねじは、右表の適正締付トルク値を守り正しく締付けてください。また、キャビネット内の各ねじも設置環境やご使用状態によって、緩む可能性がございますので、右表の適正締付トルク値を守り定期的に増締めを行ってください。締付けが不十分の場合、感電・落下・破損の原因となります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。 <div style="text-align: right;"> <p>40mm以上</p> <p>（図1）</p> </div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: 0;"> <thead> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M4</td> <td>1.5～2.5N・m</td> </tr> <tr> <td>M5</td> <td>1.8～2.9N・m</td> </tr> <tr> <td>M6</td> <td>2.9～4.4N・m</td> </tr> </tbody> </table>	ねじの呼び	適正締付トルク	M4	1.5～2.5N・m	M5	1.8～2.9N・m	M6	2.9～4.4N・m
ねじの呼び	適正締付トルク								
M4	1.5～2.5N・m								
M5	1.8～2.9N・m								
M6	2.9～4.4N・m								
	<ul style="list-style-type: none"> キャビネット接地端子の接地工事は確実に行ってください。接地工事に不備があると感電のおそれがあります。 								

■本体構造・各部名称



■付属品

部品名	姿図	数量	用途	対象機種
背面パッキンEVR		1個	背面貼付	全機種
ラベルEVR ※		1枚	電気自動車用 充電スタンドマーク	
+皿小ねじ4×10		2個	コンセント取付	
ケーブルコネクタBP14-21D2		1個	電線の保護および固定	
L型レンチ2		1個	開錠番号設定用	EVR-1/EVR-1R (ダイヤル錠タイプ)
キーH-11A (キーNo.N200)		1個	ハンドル施錠用	EVR-1H/EVR-1HR (ハンドルタイプ)
WK4322S (EV・PHEV充電用接地屋外コンセント) パナソニック電工株式会社製		1個	WK4322S 取扱説明書参照	EVR-1R/EVR-1HR (コンセント付タイプ)

※ラベルEVRは、お好みにより任意の位置へ貼付けを行ってください。

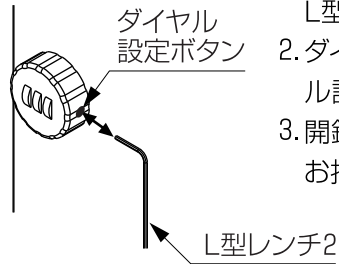
■ハンドルの操作方法

●ダイヤル錠タイプ (適応機種:EVR-1/EVR-1R)



ダイヤル錠を、矢印の方向へ90°回すと扉が開きます。

開錠番号設定方法

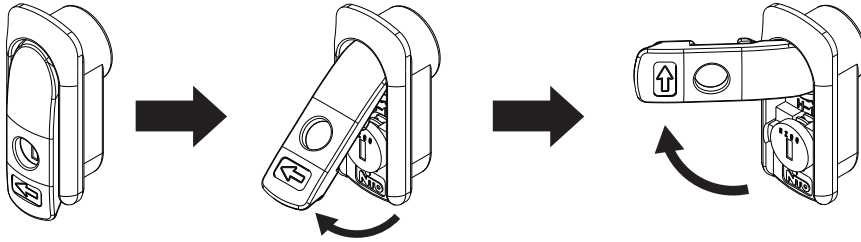


1. 開錠番号が合っていることを確認し、ダイヤル設定ボタンをL型レンチ2で押します。(出荷時の初期設定は000です。)
2. ダイヤル設定ボタンを押したまま、好みの番号に設定し、ダイヤル設定ボタンからL型レンチ2を引くと開錠番号が変わります。
3. 開錠番号を忘れると開錠出来なくなります。下記に開錠番号をお控えの上、大切に保管してください。

開錠番号
お客様控え

--	--	--

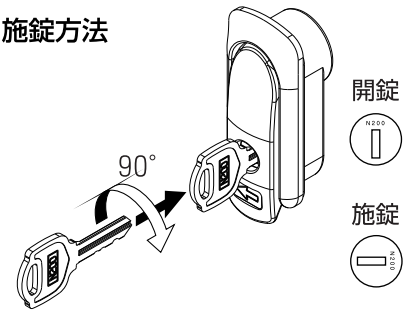
●小型平面ハンドルタイプ (適応機種:EVR-1H/EVR-1HR)



ハンドルの取手部分を上げてください。

取手を握り、矢印の方向へ90°回すと扉が開きます。

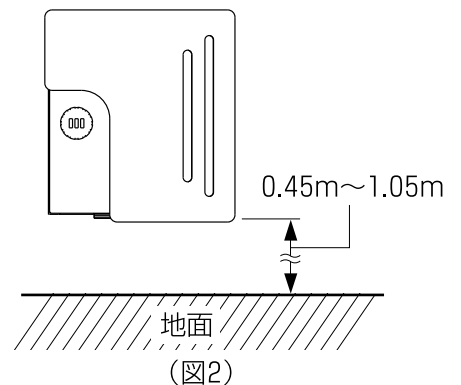
施錠方法



施錠は取手を閉じて付属のキーを向きに注意して挿入し、矢印の方向へ90°回してください。

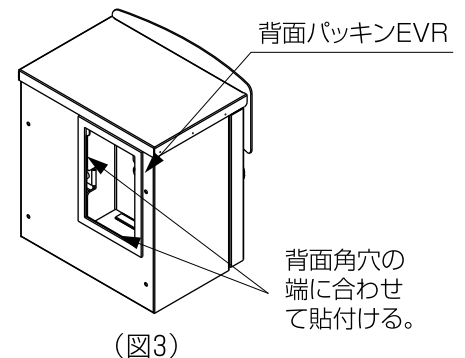
■キャビネット設置高さ

屋外用コンセントの設置高さは、地上0.6m～1.2m (キャビネット底面からコンセントの嵌合面まで約0.15mです。)が推奨されています。(社団法人日本配線器具工業会、EV普通充電用電気設備の施工ガイドライン)コンセント金具を使用する場合、(図2)に従って設置してください。

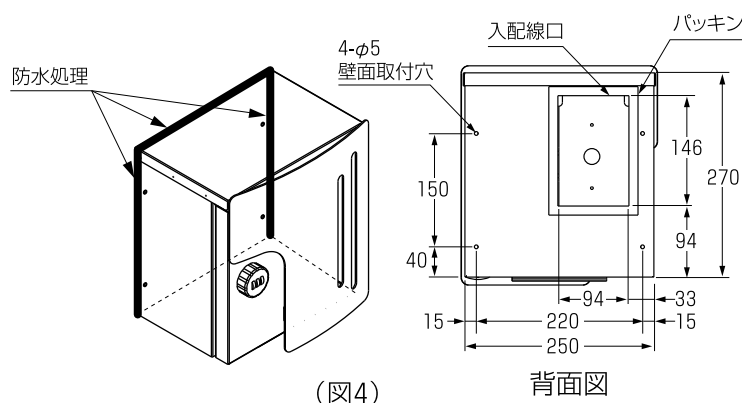


■背面パッキン取付方法

壁面取付けの際は、必ず付属品の背面パッキンEVRを(図3)の位置に貼付けてください。



■壁面取付穴位置



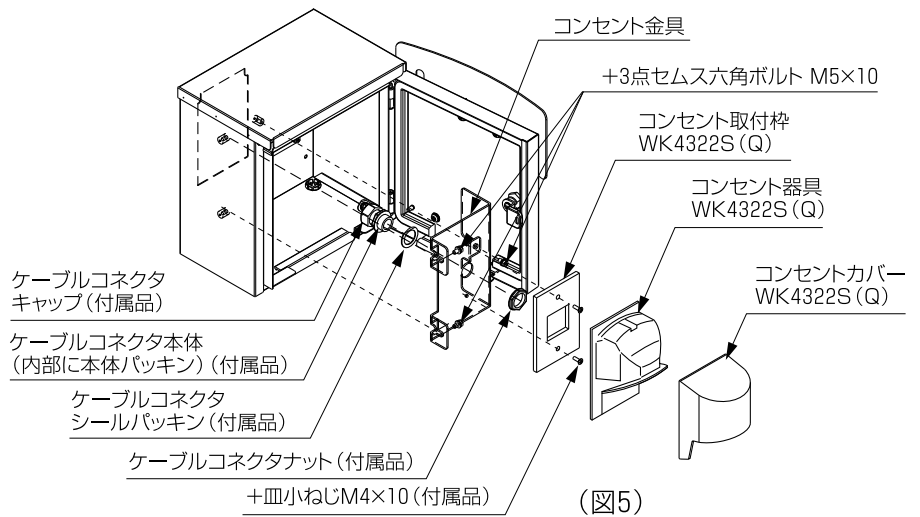
⚠ 注意



キャビネットの設置には壁面取付穴(図4)をご利用ください。取付ねじは呼び径4.1又は4.5の木ねじをお奨めいたします。木ねじの締付トルクは、取付ける壁面により、異なりますので、緩みやねじの空転などが無き様、確実に締付けを行ってください。キャビネットの壁面取付穴および壁面に接する底面以外の外周部3ヵ所はシール等により防水処理を施してください。

■コンセント取付方法

- 1.+3点セムス六角ボルトM5×10を外し、コンセント金具を外してください。
- 2.コンセント金具にケーブルコネクタ(付属品)を取付けてください。
- 3.コンセント取付枠をコンセント金具に+皿小ねじM4×10(付属品)で取付けてください。
- 4.ケーブルコネクタキャップを緩め、ケーブルコネクタに電線を通して器具に結線を行ってください。
- 5.コンセント器具をコンセント取付枠に取付けてください。
- 6.ケーブルコネクタキャップを電線が固定されるまで、しっかりと締付けてください。電線径や電線の種類によって、ケーブルコネクタキャップを締付けても電線周りに隙間が出来る場合は、電線に絶縁テープの巻付けなどを施した後、ケーブルコネクタキャップを締付けてください。
- 7.コンセント金具を本体へ、+3点セムス六角ボルトM5×10で取付けた後、コンセントカバーをコンセント器具へ取付けてください。
コンセントカバーを先に取付けると、+3点セムス六角ボルトM5×10への工具アクセスが出来なくなります。



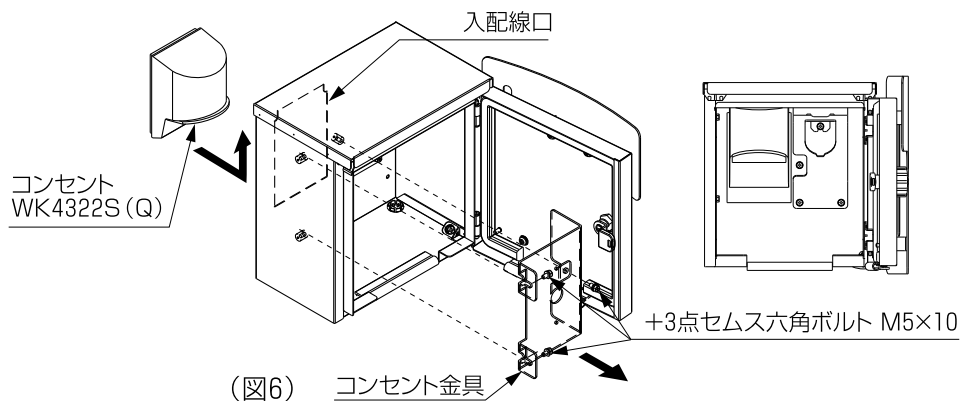
⚠ 注意

- ・コンセント施工方法の詳細は、パナソニック電気株式会社のWebサイト (<http://panasonic.co.jp>) をご参照ください。
- ・コンセント回路は専用回路とし、主幹ブレーカまたは分岐ブレーカには漏電ブレーカをご使用ください。
- ・各種取付ねじは、右表の適正締付トルク値を守り正しく締付けてください。締付けが不十分の場合、感電・落下・破損の原因となります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク
M4	1.5~2.5N・m
M5	1.8~2.9N・m

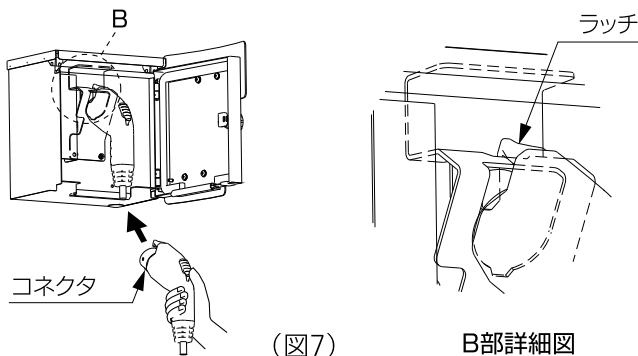
■既にコンセントが壁面設置されている場所への取付方法

- 1.+3点セムス六角ボルトM5×10を外し、コンセント金具を外してください。
- 2.キャビネットの入配線口を利用し、コンセントにキャビネットを被せてください。
- 3.キャビネットを下にスライドさせてコンセントをはめ込んでください。
- 4.壁面にキャビネットの取付を行ってください。



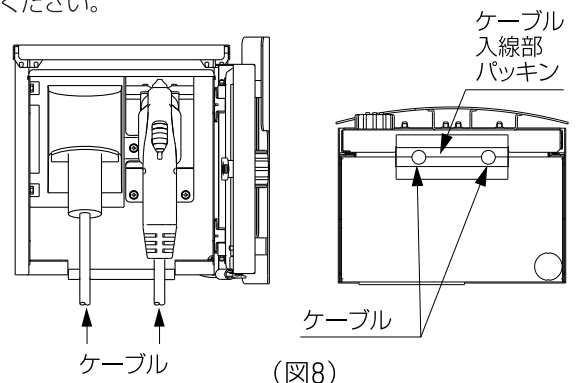
■コネクタホルダ

(図7)の様にコネクタのラッチを引っ掛け部にしっかりと引っ掛けてください。引っ掛けが浅いと、コネクタが落下するおそれがあります。取外す際は、コネクタを軽く持ち上げラッチを引っ掛け部から外してください。



■底面ケーブル入線部

コンセント及び、コネクタのケーブルはキャビネット底面のケーブル入線部パッキンよりキャビネット外部へ出してください。



仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。また、ご不明な点がありましたら弊社お客様相談室にお問い合わせください。この取扱説明書の内容は2011年5月現在のものです。